



LDAP プロファイル

LDAP プロファイルのウィンドウを使用して、LDAP のディレクトリ情報、LDAP の検索コンテキスト情報、LDAP サーバの情報、およびプロファイルに関連付けられるユーザなどを設定します。このウィンドウを使用して特定のプロファイルを検索し、個々の設定値を変更できます。

LDAP プロファイルの検索

ネットワークに複数の LDAP プロファイルが存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の LDAP プロファイルを検索することができます。特定の LDAP プロファイルを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索 / 一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [アプリケーション] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [LDAP プロファイル] の順に選択します。

[LDAP プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Ldap Profiles)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.30-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

LDAP プロファイルの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースで LDAP プロファイルを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- LDAP プロファイルを追加するには、[アプリケーション] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [LDAP プロファイル] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- LDAP プロファイルを更新するには、P.30-1 の「LDAP プロファイルの検索」の手順に従ってプロファイルを検索します。

[LDAP プロファイルの設定 (LDAP Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 30-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 ユーザと LDAP プロファイルを関連付けるには、[プロフィールにユーザを追加] をクリックします。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 5](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 5 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。

ステップ 6 レコードのリストから、LDAP プロファイルに追加するユーザをクリックするか、または [すべてを選択] をクリックします。

ステップ 7 ユーザを LDAP プロファイルへ追加するには、[選択項目の追加] をクリックします。

ステップ 8 [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウで [閉じる] をクリックします。

- ステップ 9** データを保存して LDAP プロファイルをデータベース プロファイルに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします）。

追加情報

P.30-5 の「関連項目」を参照してください。

LDAP プロファイルの設定値

表 30-1 で、LDAP プロファイルの設定パラメータについて説明します。関連する手順については、P.30-5 の「関連項目」を参照してください。

表 30-1 LDAP プロファイルの設定パラメータ

フィールド	説明
LDAP プロファイル情報 (LDAP Profile Information)	
名前	このパラメータは、LDAP プロファイルの名前を指定します。 最大文字数：128
説明	このパラメータは、LDAP プロファイルの一般的な説明を示します。 最大文字数：128
識別名 (DN) をバインド (Bind Distinguished Name(DN))	このパラメータは、管理者レベルのアカウント情報を <i>useraccount@domain.com</i> の形式で指定します。これは、認証済バインドに対する識別名 (DN) を表します。 最大文字数：128
パスワード (Password)	このパラメータは、LDAP 管理者のユーザ名に対するパスワードを指定します。 最大文字数：128
パスワードの確認 (Confirm Password、半角英数のみ)	このパラメータは、LDAP 管理者のユーザ名に対するパスワードを確認します。 最大文字数：128
Anonymous バインド (Anonymous Bind)	[Anonymous バインド (Anonymous Bind)] チェックボックスをオンにすると、ユーザはこの LDAP サーバに読み取り専用アクセスで匿名ログインできます。ユーザの資格情報を使用して LDAP サーバにログインするには、このチェックボックスをオフにします。
検索コンテキスト (Search Context)	このパラメータは、すべての LDAP ユーザが存在する場所を、コンテナまたはディレクトリで指定します。 最大文字数：128
再帰検索 (Recursive Search)	検索ベースで始まるディレクトリの再帰検索を実行するには、[再帰検索 (Recursive Search)] チェックボックスをオンにします。
プライマリ LDAP サーバ (Primary Ldap Server)	このパラメータは、プライマリ LDAP サーバを指定します。ドロップダウンリストで、定義済の LDAP サーバから選択できます。
バックアップ LDAP サーバ (Backup Ldap Server)	このパラメータは、バックアップ LDAP サーバを指定します。ドロップダウンリストで、定義済の LDAP サーバから選択できます。バックアップ LDAP サーバは 2 つ指定できます。

LDAP プロファイルの削除

この項では、LDAP プロファイルの削除方法を説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.30-1 の「[LDAP プロファイルの検索](#)」の手順に従い LDAP プロファイルを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する LDAP プロファイルを選択します。
- ステップ 3** プロファイルを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[選択項目の削除]** アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される **[選択項目の削除]** ボタンをクリックします）。

LDAP プロファイルが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。LDAP プロファイルが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.30-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [LDAP プロファイルの検索 \(P.30-1\)](#)
- [LDAP プロファイルの設定 \(P.30-3\)](#)
- [LDAP プロファイルの削除 \(P.30-5\)](#)

